

年間指導計画 第3学年 道徳

学期	学習計画 (全35時間)	目標	
前期	あつしの計画ひょう きまりじゃないか ぬれた本 あいさつをすると 二つの声 ケヤキのやさしさ 公園ボランティア あと、ひと言 ドミノのように なかよしだから ハルおばあちゃんのかつどんや だれにも言えない ホテルの引っ越し ゆうすけの朝 健ちゃんをたすける ぼくたち、手つだいます！	<p>学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。</p> <p>内容</p> <p>1. 自分自身に関すること (1) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。 (2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。 (3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。 (4) 過ちは素直に改め、正直に明るいい心で元気よく生活する。 (5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。</p> <p>2. 他の人とのかかわりに関すること (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。 (4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p> <p>3. 自然や崇高なもののかかわりに関すること (1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。 (2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。 (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。</p> <p>4. 集団や社会とのかかわりに関すること (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。 (2) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。 (3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作る。 (4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級を作る。 (5) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。 (6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。</p>	
	後期	くうちゃんの絵 いいち、にいつ、いいち、にいつ 与作のカキの実 ドッジボールの決勝戦とお楽しみ会 まけるものか 百羽のツル ぼくのおべんとう ここは図書館です ぼくのおばあちゃん しあわせの王子 ふるさといいとこさがし みえないってどんなこと シクラメンのささやき たまちゃん、大すき ーりん車にのれた いただいたいのち どうぞと言われて じゃがいもの歌 耳の聞こえないお母さんへ	

評価について

- ・道徳教育における評価は、教師が児童の成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。授業中の児童の発言、生活の様子日記、作文、心のノートなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。
- ・道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て行います。また、全体の評価と個人評価に努めています。

保護者の方へ

- ・副読本や「心のノート」を資料として授業を進めていきます。
- ・学校では具体的な文章や絵をもとにして、子どもたちがどのような考え方・感じ方をして生活しているかを考え、話し合っ、一人ひとりの子どもの心を耕していこうと努力しています。家庭でも、子どもたちが道徳で学習したことについて、話すことがあれば、積極的に話し合っ、いただきたいと思います。